

耐震化と教育環境充実に向け

校舎を大規模改修

町は校舎棟増設後30年以上経過する萩野小学校の大規模改修事業を実施します。校舎の西側・東側棟を対象に、天井や床、給水設備、照明設備、感染症対応のトイレ洋式化など内部改修と、外壁や屋根などの外部改修を行い、北側棟の特別教室機能を東側棟へ移転します。工期は7月中旬から令和4年3月ごろまでを予定。今年度事業費は約3億5000万円（国の補助金などを含む）。工事期間中、駐車場の一部が利用できなくなるため、町教委は「学校関係者や学校開放利用者などの皆さんの理解と協力を」とお願いしています。



町立萩野小学校

今年開校1世紀の節目

記念式典・行事を企画、記念誌発行で祝う

萩野小学校は大正10（1921）年に開校、今年で100年を迎えます。昭和55（1980）年には25学級、児童数987人の大規模校となり多くの卒業生を輩出してきました。現在は少子化や人口減などに伴い、在籍児童は130人となっています。

歴史と伝統のある100年の重みを児童、保護者、地域、教職員で祝い、未来につなごう！と、記念事業を催すことにしました。記念式典は11月13日の予定です。コロナ禍ですので、式典や行事内容の縮小、制限なども余儀なくされそうですが、令和2年度にPTAや地域住民などによる記念事業協賛会も立ち上がり、さまざまな事業に取り組んでいます。田村雅嘉校長は「本校の発展に関わってくださった皆さま、支えていただいた地域の方に感謝しています。記念事業・行事は新型コロナウイルス感染防止に配慮しながらも学校、保護者、地域の絆が一層深まるようなものにしたい」と話しています。

100年の足跡を刻む記念誌作成にも着手しており、内容は「歩み」「歴代校長・PTA会長紹介」「卒業生による寄稿」「在籍児童のページ」などを盛り込んでいます。

同校（☎83-2106）は「地域の皆さまで記念誌をご希望される方がいらっしゃいましたら、申し込みいただくようお願いします」と呼び掛けています。

記念誌の受け渡し、発送は11月中旬を予定。申込用紙を学校に持参するか、ファクス（☎83-5339）または電子メール（sro-hagino-sho-9@hokkaido.school.ed.jp）で連絡してください。

金額は学校に受け取りに来る場合は2,000円、郵送は2,370円。金融機関振り込みは、振込先が「室蘭信用金庫 店番012 普通口座6237880」、名義は「白老町立萩野小学校創立100周年記念事業協賛会 会長小嶋孝之」。締め切りは8月末。



「萩小100」の人文字をドローン撮影する児童たち



アヨロ台地で先祖に祈りを

白老アイヌ協会主催の第18回「アイ・オロ・オ・コタン先祖供養祭」が7月10日、虎杖浜のボンアヨロ海岸で厳かに行われ、「カムイノミ」「シンヌラッパ」という伝統儀式を通して、先祖の霊に祈りをささげました。新型コロナ感染拡大防止ということもあり、広く参加は募らず、協会会員を主に町民と町職員の計25人が参加しました。山丸和幸理事長が同地の文化や歴史、同祭の意味などを解説しました。参加者は設けられた祭壇に供物などをささげ、先祖をしのんでいました。

